



平成 24 年 6 月期 第 1 四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

平成 23 年 11 月 11 日

上場会社名 株式会社かんな丸 上場取引所 大
 コード番号 7585 URL <http://www.kannanmaru.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 栄治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 菊田 聡 TEL (048) 881 - 9056 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 11 月 11 日 配当金支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1 . 平成 24 年 6 月期第 1 四半期の業績 (平成 23 年 7 月 1 日 ~ 平成 23 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計) (% 表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 6 月期第 1 四半期	1,519	4.3	79	57.7	70	44.2	36	
23 年 6 月期第 1 四半期	1,457		50		49		1	

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24 年 6 月期第 1 四半期	8	35		
23 年 6 月期第 1 四半期	0	41		

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 6 月期第 1 四半期	4,511	3,867	85.7
23 年 6 月期	4,466	3,899	87.3

(参考) 自己資本 24 年 6 月期第 1 四半期 3,867 百万円 23 年 6 月期 3,899 百万円

2 . 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 6 月期	- -	0 00	- -	16 00	16 00
24 年 6 月期	- -	- -	- -	- -	- -
24 年 6 月期 (予想)	- -	0 00	- -	16 00	16 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3 . 平成 24 年 6 月期の業績予想 (平成 23 年 7 月 1 日 ~ 平成 24 年 6 月 30 日)

(% 表示は、通期は対前期、第 2 四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期 (累計)	3,138	2.5	205	48.8	214	44.5	113	115.7	26	36
通 期	6,060	4.6	360	208.4	378	161.8	200	531.7	46	55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年6月期1Q	4,351,308株	23年6月期	4,351,308株
期末自己株式数	24年6月期1Q	39,232株	23年6月期	39,211株
期中平均株式数（四半期累計）	24年6月期1Q	4,312,092株	23年6月期1Q	4,312,192株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生による生産の減少や消費の低迷による厳しい状況からスタートしましたが、原子力発電所の罹災に伴う広域にわたる直接的な被害や、それに端を発した全国的な電力供給不足により経済活動が阻害される状況に加え、欧米各国のデフォルトリスク等に伴う円高も依然として進行しており、先行きが極めて不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、東日本大震災に伴う自粛や計画停電に伴う一時的な営業制限から始まり、放射性物質による被爆リスクのある食材の流通や、牛肉の生食による食中毒死亡者の集団発生といった、飲食の安全・安心を脅かす事件が連続して発生し、経営を取り巻く環境はさらに厳しい状況となっております。

こうした状況の下、当社は既存店の活性化を図り、地域一番店を目指す方針に基づき、人材の発掘・登用を積極的に行い、また「わざわざご来店いただいたお客様」に感謝するためのきめ細かい施策を継続して実施するとともに、当第1四半期累計期間におきましては、「庄や」1店舗を開店するとともに、「庄や」1店舗、「炉辺」1店舗を、それぞれ「やるき茶屋」に業態変更いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間末の店舗数は、大衆割烹「庄や」40店舗、「日本海庄や」37店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」6店舗、カラオケルーム「うたうんだ村」7店舗、無国籍料理「KUSHI949KYU」1店舗、コーヒー専門店「ドトールコーヒーショップ」1店舗、旬菜・炭焼「炉辺」1店舗の合計93店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高1,519,762千円（前年同四半期比4.3%増）、売上総利益は1,091,754千円（前年同四半期比4.8%増）、販売費及び一般管理費については1,012,699千円（前年同四半期比2.2%増）となり、営業利益は79,054千円（前年同四半期比57.7%増）となりました。

経常利益につきましては70,806千円（前年同四半期比44.2%増）となり、税引前四半期純利益68,306千円（前年同四半期比71,965千円増）となり、四半期純利益は36,001千円（前年同四半期比34,228千円増）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における資産の状況は、現金及び預金を主とした流動資産の増加36,840千円、新規出店に伴う有形固定資産の増加等4,015千円により、総資産4,511,511千円（前事業年度末比1.0%増）となりました。

負債は、改装に伴う有形固定資産の取得に係る未払金の増加等22,360千円により、643,815千円（前事業年度末比13.4%増）となりました。

純資産は、四半期純利益の計上、及び前期末未払配当金の支出計上等により31,929千円減少し、3,867,695千円（前事業年度末比0.8%減）となりました。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期の業績予想については、平成23年8月12日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

イ. 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

ロ. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。また、前事業年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,283,460	1,327,715
売掛金	36,490	37,500
商品	102	141
原材料	38,000	32,926
前払費用	81,915	80,753
その他	44,953	43,221
貸倒引当金	△74	△571
流動資産合計	1,484,847	1,521,687
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,667,985	1,662,327
その他（純額）	328,944	338,617
有形固定資産合計	1,996,929	2,000,944
無形固定資産	15,878	15,616
投資その他の資産		
敷金及び保証金	825,903	839,204
その他	180,144	180,751
貸倒引当金	△36,812	△46,694
投資その他の資産合計	969,235	973,262
固定資産合計	2,982,043	2,989,823
資産合計	4,466,890	4,511,511
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,417	119,076
1年内返済予定の長期借入金	31,948	33,368
未払法人税等	3,711	42,810
賞与引当金	1,900	7,600
その他	240,765	287,300
流動負債合計	404,742	490,155
固定負債		
長期借入金	12,772	3,018
資産除去債務	147,149	148,339
その他	2,602	2,301
固定負債合計	162,523	153,659
負債合計	567,265	643,815

（単位：千円）

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,100	275,100
資本剰余金	88,500	88,500
利益剰余金	3,572,406	3,539,414
自己株式	△35,311	△35,332
株主資本合計	3,900,695	3,867,681
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,070	13
評価・換算差額等合計	△1,070	13
純資産合計	3,899,624	3,867,695
負債純資産合計	4,466,890	4,511,511

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）
売上高	1,457,276	1,519,762
売上原価	416,006	428,008
売上総利益	1,041,269	1,091,754
販売費及び一般管理費	991,141	1,012,699
営業利益	50,128	79,054
営業外収益		
受取利息	279	143
協賛金収入	1,008	1,178
その他	558	799
営業外収益合計	1,846	2,121
営業外費用		
支払利息	216	118
貸倒引当金繰入額	2,123	9,882
その他	538	369
営業外費用合計	2,878	10,369
経常利益	49,096	70,806
特別損失		
固定資産除却損	101	—
投資有価証券評価損	—	2,499
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	52,653	—
特別損失合計	52,755	2,499
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△3,659	68,306
法人税、住民税及び事業税	15,492	40,051
法人税等調整額	△20,924	△7,746
法人税等合計	△5,432	32,304
四半期純利益	1,773	36,001

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。